

R&Dプロフェッショナル人材をめざす

R&D マネジメント力 養成プログラム

Session I Session II Session III Session IV
7/31_水 8/29_木 9/10_火 9/26_木

イノベーションを創出し、企業の持続的発展を図る
「R&Dマネジメント力」を修得

「R&Dマネジメント力」養成プログラムとは

本プログラムは、企業を持続的に成長発展させるために不可欠なイノベーションを創出することができる「R&Dマネジメント力」の養成を目的としております。各セッション(全4セッション)では、企業の競争力を高めるR&D

戦略の立案、R&Dテーマのマネジメント、R&D組織と人財のマネジメントについて基礎から体系的に実務的視点から学ぶことができるプログラムでございます。

本プログラムで修得できる「R&Dマネジメント力」

未来に対して
R&Dの
方向性を定め
それを推進する力

現場で実際に
生じる諸課題を
正確に捉えて
解決する力

創造性に富む
人財を育み
R&Dを絶えず
活性化させる力

たくさんの
卵(研究テーマ)から
効率よくイノベーションを
生み出す
プロセス実践力

「R&Dマネジメント力養成」プログラム

※各セッションのテーマに沿って学びます。

I. 企業の競争力を高めるR&D戦略の立案

R&Dの役割とイノベーションの本質

II. R&Dテーマ・マネジメント(1)

R&Dテーマの発想・探索と企画

III. R&Dテーマ・マネジメント(2)

ステージゲートとシナリオプランニングの
融合によるR&Dテーマ推進

IV. R&D組織と人財のマネジメント

イノベティブな組織(風土)の醸成と
人財の活性化

講師



1971年キヤノンカメラ(株)(現キヤノン(株))入社。中央研究所で電子写真研究、電子写真感光体の開発に従事。感光体の生産部門を経て、化成品開発部門で多くの新規デバイス開発に関わる。1986年インクジェット研究開発担当になり、インクジェット用ヘッド、インクジェット用インク、メディア等の開発に取り組む。この間、<研究→開発→生産>のサイクルを2回経験。2000年に次世代材料を生み出す拠点として材料技術研究所を設立して所長に就任。新規分野の研究開発を通じて新規

事業創出に貢献。特許出願件数多数。2006年に同社を定年退職。キヤノングループ各社の技術顧問を歴任。現在は企業研究会の研究アドバイザーとして各種プログラムで指導。東北大学「イノベーション創発塾」(博士課程学生対象のキャリア形成支援プログラム)では講師として人材育成にあたる。その他に企業での実践的技術指導、人材育成で活躍中。

一般社団法人 企業研究会 研究アドバイザー 村井 啓一氏
(元キヤノン(株) 材料技術研究所 所長)

受講される皆様へ

誤ったマネジメントからイノベーションは生まれない。

グローバル競争下で日本経済は低迷し、多くの企業が苦戦しています。根本的な解決には、経営革新による対応と共に“優れたイノベーション”を生み出す必要があります。優れたイノベーションは、既存事業の競争力向上と発展の原動力になるばかりでなく、新規事業をも創出することができるからです。ところが、R&Dの現場では、イノベーションが生まれ難い現状があります。その対策として新しい組織の編制や、マネジメントの強化など様々な試みを

行っても良い結果が生まれてきませんでした。なぜでしょうか。

その理由は、イノベーションを生み出すためのマネジメントが十分に理解されずに、誤ったマネジメントが行われていることにあります。突き詰めれば、良かれと思って行う従来型のマネジメントにこそ大きな落とし穴があるのです。

イノベーションが生まれる“しくみ”を理解し、マネジメントを実践する。

イノベーションが生まれた背景には、いつの時代にも、どこどの組織でも、普遍的な“しくみ”が存在します。その“しくみ”をつくり、十分に機能するマネジメントがあれば、必ずイノベーションは生まれます。

そこで本コースでは、企業に必要なイノベーションの本質の理解にはじまり、イノベーションを生み出すテーマ探索の方法とその推進プロセス、新規事業

を生み出す考え方、さらにはイノベーションを生み出す人材と組織風土など順序立てて考察する力を養います。

その結果として、“しくみ”のつくり方を理解し、イノベーションを生むマネジメントを実践できると確信しています。

「R&Dマネジメント力」養成プログラム
講師 村井 啓一

セッションの進め方

講義・質疑応答

演技課題出題

講師から
セッションテーマについて
出題

演習課題について
各自で考察

演習課題に関する
ディスカッション

※実施しない時もございます。



講師による講義風景



参加者同士による意見交流

session

I

7/31 水

13:00 ~ 17:00

企業の競争力を高めるR&D戦略の立案

- ① R&Dの役割とイノベーションの本質
- ② イノベーションが企業の未来を左右する
- ③ R&Dと企業の収益性
- ④ R&Dを先導するビジョンの重要性
- ⑤ 経営戦略、ビジョンとR&D戦略の整合性
- ⑥ 「トップダウン」と「ボトムアップ」
- ⑦ 価値を生む差異化戦略、知的財産戦略

session

II

8/29 木

13:00 ~ 17:00

R&Dテーマ・マネジメント(1)

R&Dテーマの発想・探索と企画

- ① 「研究」フェーズと「開発」フェーズのマネジメントの違い
- ② 2種類のイノベーション(連続型、非連続型)とマネジメントの違い
- ③ 他社に差異化するイノベーションを生み出す
- ④ 自発的なテーマ創出のしくみの構造
- ⑤ リスクを軽減できるバランスマネジメント

session

III

9/10 火

13:00 ~ 17:00

R&Dテーマ・マネジメント(2)

ステージゲートとシナリオプランニングの融合によるR&Dテーマ推進

- ① ファジーフロントエンドの重要性
- ② テーマ発案と評価、選定へのマネジメント
- ③ ステージゲート法の本質
- ④ シナリオの作成プロセス演習
- ⑤ アイデアテーマのシナリオ作成による絞り込み
- ⑥ 研究推進ステージの複数シナリオを描く
- ⑦ 事業化、製品化と開発フェーズ

session

IV

9/26 木

13:00 ~ 17:00

R&D組織と人財のマネジメント

イノベティブな組織(風土)の醸成と人財の活性化

- ① R&D組織の役割
- ② イノベーションが生まれる“しくみ”の構築

■ イノベーションはどこから生まれるのか

- ・イノベーションを生み出す組織&風土
- ・カオス(混沌)と秩序のバランスマネジメント
- ・ビジョン、戦略、危機感のコミットメント
- ・創発人材とイノベーションを牽引するリーダーの重要性

イノベーションを生み出す
R&Dプロフェッショナル人材

開催要項

参加対象

- 研究所、開発部門、事業部門等で研究・技術開発に携わる方
- 研究・技術企画部門、経営企画部門等でR&D戦略に携わる方
- イノベーション創出のヒントを探求している方

期 間

2019年7月～9月の全4日程 (日程は下記をご確認ください)
※開催時間は全セッション共に13:00～17:00となります。

会 場

アイビーホール(東京・表参道)

受講料 (1名)

全セッション(4日間)受講

受講日	正会員	一般
全セッション	97,200円 (本体価格:90,000円)	106,920円 (本体価格:99,000円)

各セッション受講料

受講日	正会員	一般
セッションⅠ 7/31(水)	32,400円 (本体価格:30,000円)	35,640円 (本体価格:33,000円)
セッションⅡ 8/29(木)	32,400円 (本体価格:30,000円)	35,640円 (本体価格:33,000円)
セッションⅢ 9/10(火)	32,400円 (本体価格:30,000円)	35,640円 (本体価格:33,000円)
セッションⅣ 9/26(木)	32,400円 (本体価格:30,000円)	35,640円 (本体価格:33,000円)

※会員ステータスの確認:弊会HP <https://www.bri.or.jp> (TOP)→(会員一覧)

本コースは各セッション単位の申し込みが可能です。
お申し込みの際は申込フォームの参加日程欄にて、受講を希望されるセッションに「✓」を入れてください。

お申込方法

申込書に必要事項を記入の上、弊会のwebサイト(<https://www.bri.or.jp>)もしくは担当者宛Eメールにてお申し込みください。

お支払方法

銀行振込
お申し込み確認後に請求書をお送りいたします。

お問い合わせ

事業コード **190358**

一般社団法人企業研究会 事務局：佐藤 小百合

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUAREビル 2F
TEL: 070(4370)1069 E-mail: s-sato@bri.or.jp

※お客様の個人情報は、本研究会に関する連絡・確認および弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。